

WEB基礎演習

第6回

2020年10月30日（金）

- ・ソーシャルディスタンスを保とう（できるだけ1席ずつあける）
- ・必携PCを使いましょう
- ・もし忘れた場合→181教室でのログイン
 - 2限のユーザ名：WebPro4_1kumi
 - 3限のユーザ名：WebPro4_2kumi
 - パスワード：kudo

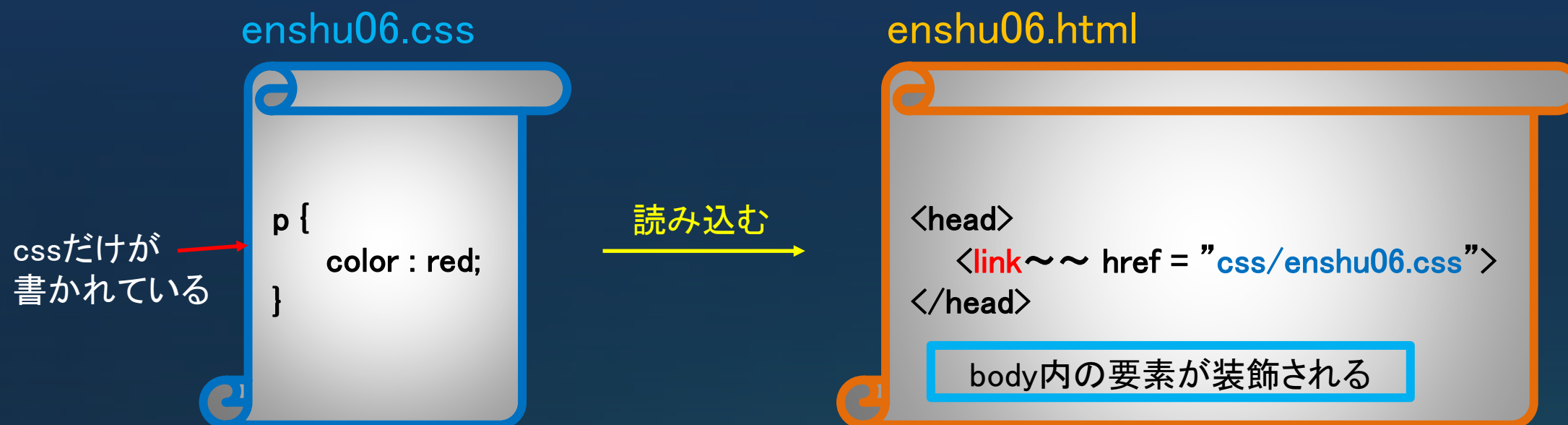
Today's Agenda

本日の内容

-
- 文字を装飾するCSS
 - 背景を装飾するCSS
 - 提出課題3: 文字と背景を装飾したWEBページを作ろう
-

1 番使うCSSのHTML適用方法（おさらい）

CSSだけを書いた別ファイル – 拡張子は.css – を作り、
linkタグで読み込む



今後の授業では、**基本的にこの方法を使います**

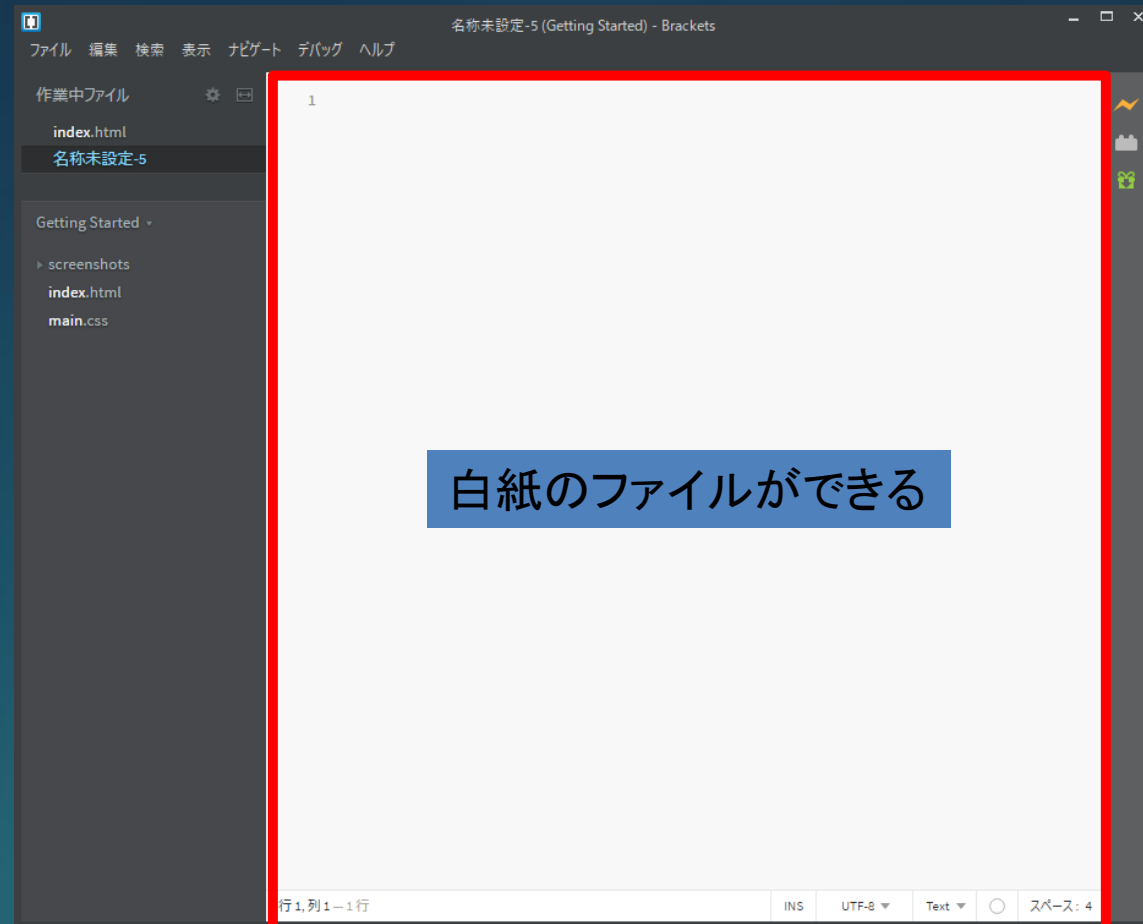
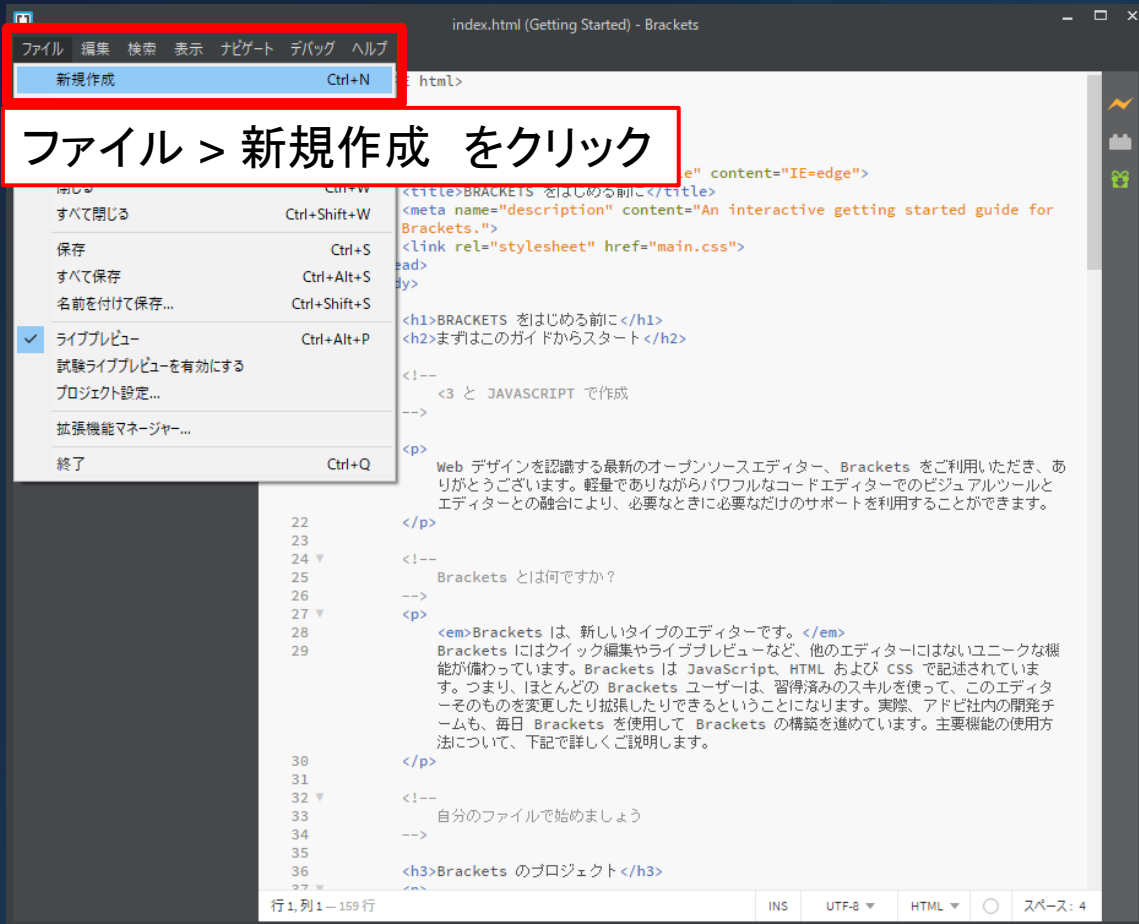
まずは今日の演習用ファイル2つを作ろう
Brackets



左下のスタートメニュー(あればショートカット)から起動しよう

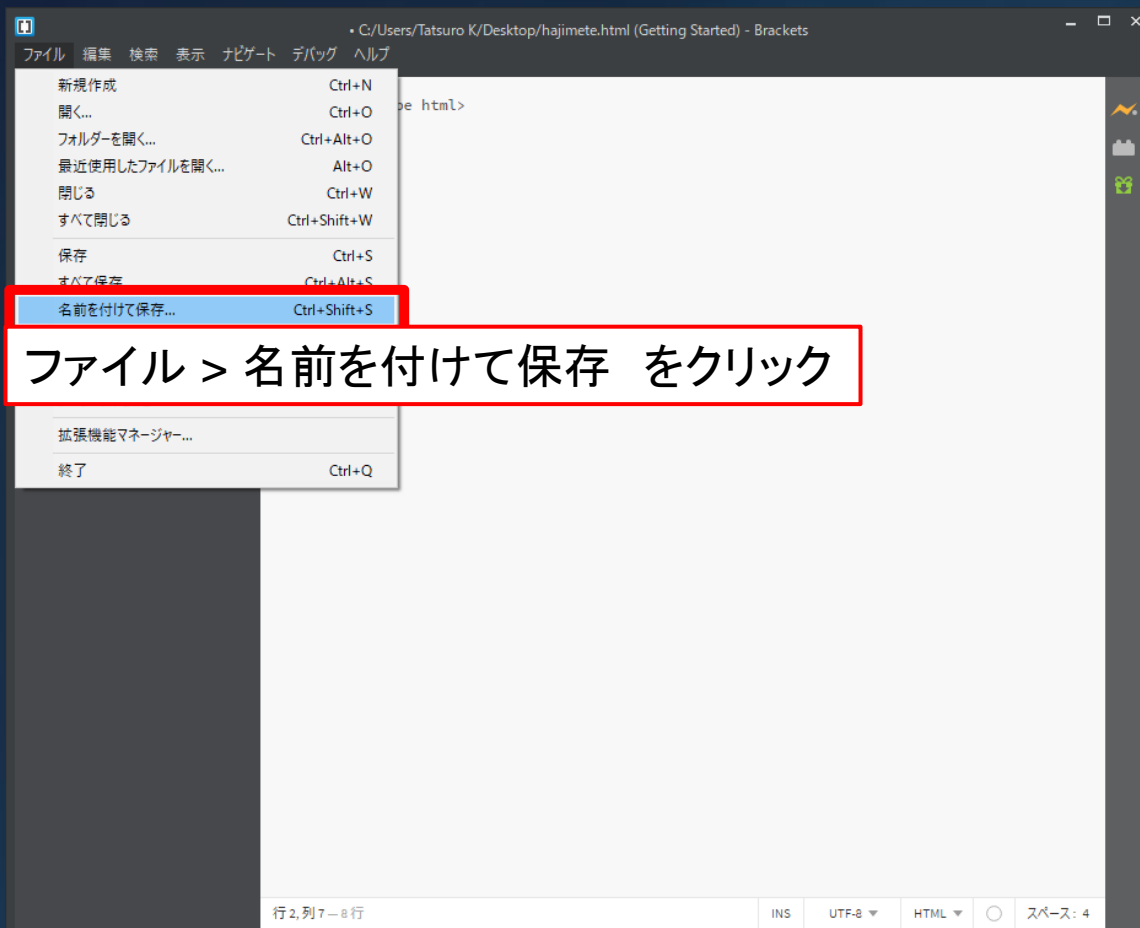
演習用ファイルの作成1 (CSS)

1. 編集ファイルの新規作成

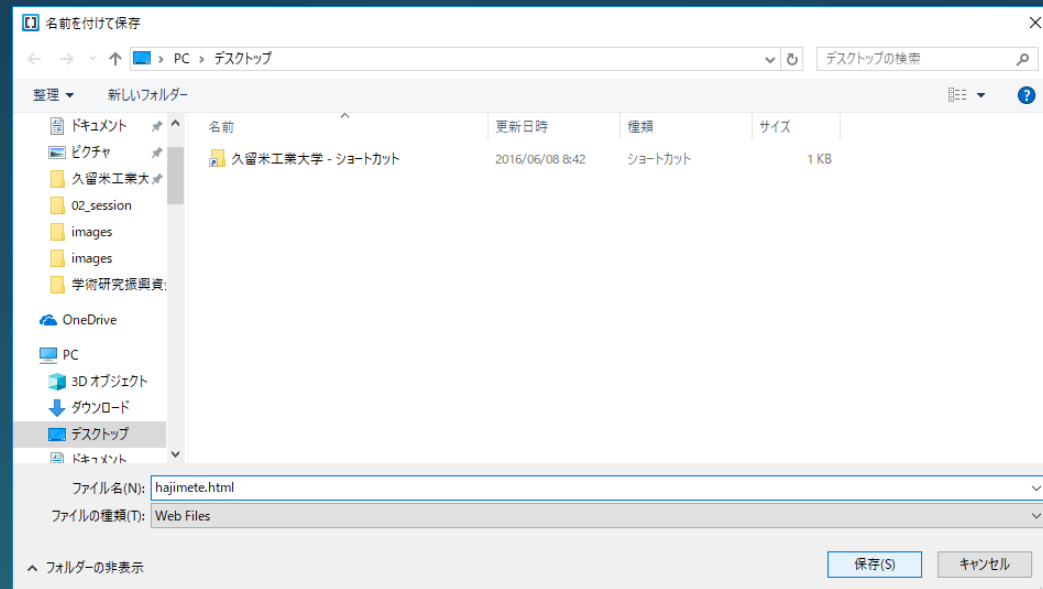


演習用ファイルの作成1 (CSS)

2. CSSファイルとして一度保存(これで候補表示などが働くように)



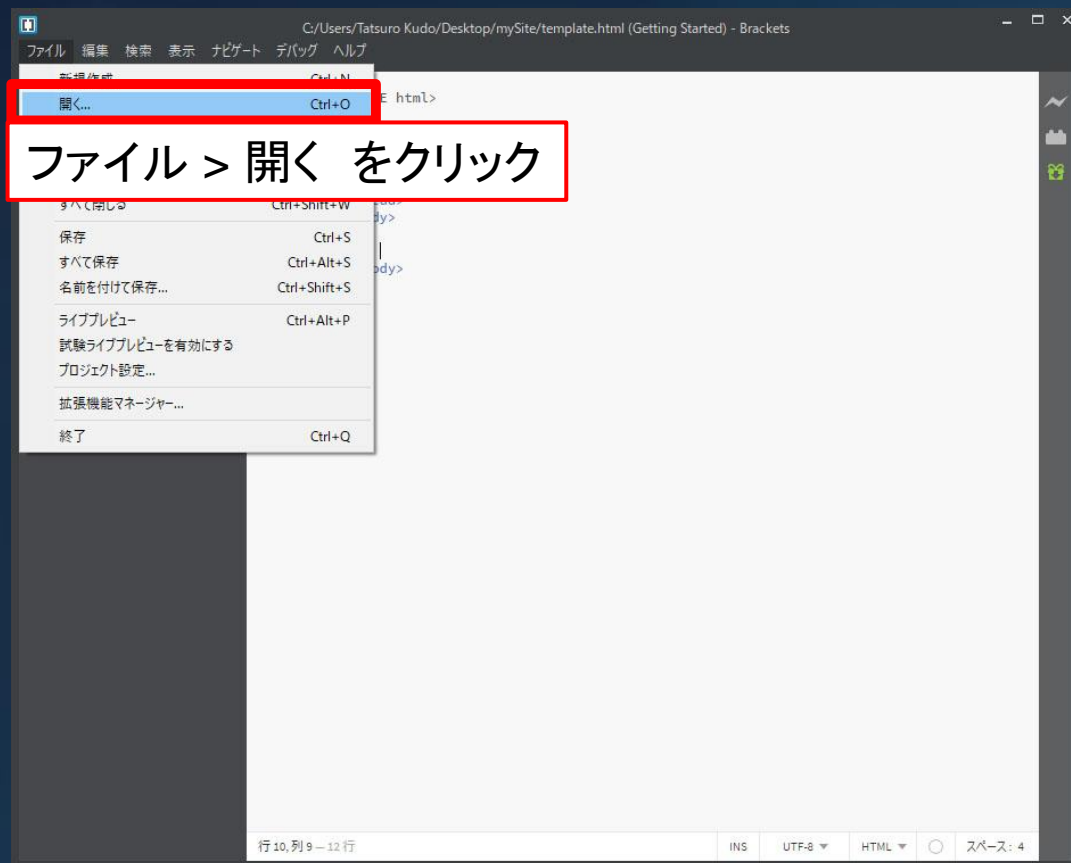
今回はデスクトップ > mySite > cssに
「enshu06.css」という名前で保存しよう



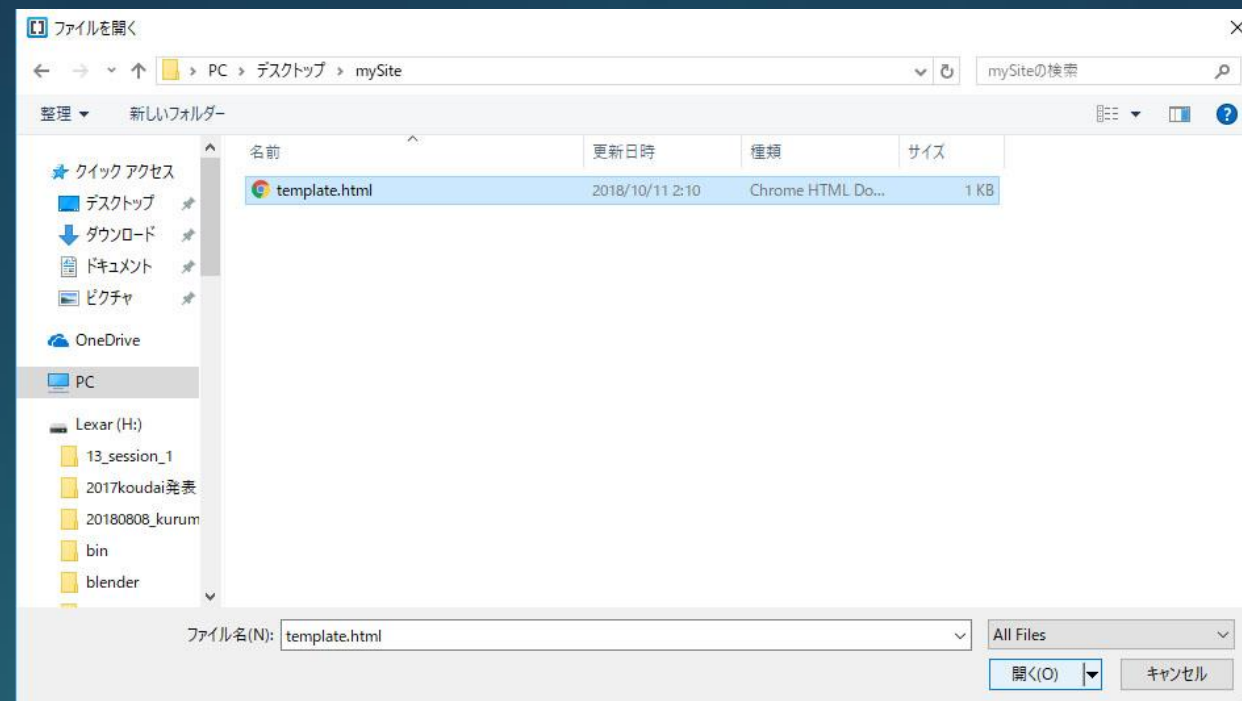
cssフォルダ内に必ず入れておこう

演習用ファイルの作成2 (html)

1. ensu05_load.htmlなどを開く



デスクトップ > mySite > 「ensu05_load.html」を選択 > 開く



演習用ファイルの作成2(html)

2. ベースとなるhtml文書の作成(headとbody部分に書き加えよう)

```
<head>
    ⋮
    <link rel="stylesheet" type="text/css" href="css/enshu06.css">
</head>
<body>
    <h1>Title1</h1>
    <p>
        ABCDE
    </p>

    <h1>Title2</h1>
    <p>
        FGHIJ
    </p>
</body>
```

3. htmlファイルとして保存

「enshu06.html」という名前で デスクトップ > mySite 内に保存

CSS言語の基本形式（復習）

スタイルの適用先

セレクタ {

プロパティ : **値** ;

設定する項目名

設定値

}

例:

p {

color : **red** ;

}

pタグの**文字色**を**赤**に装飾する の意味

文字を装飾するCSS

文字色を変更するCSS

書式（プロパティ：値 の部分だけ記述しています）：

```
color : 色の値 ;
```

赤文字にする例1：

```
color : red ;
```

赤文字にする例2：

```
color : #ff0000 ;  
         ff0000  
         R  G  B
```

それぞれ2桁の16進数(0~255の値を示す)

文字の大きさ(サイズ)を変更するCSS

書式 (プロパティ : 値 の部分だけ記述しています) :

```
font-size : 大きさの値 ;
```

例(文字サイズを25pxにする) :

```
font-size : 25px ;
```

文字の太さを変更するCSS

書式 (プロパティ : 値 の部分だけ記述しています) :

```
font-weight : 太さの値 ;
```

例 (太字にする) :

```
font-weight : bold ;
```

<太さの値の種類>

1) normal → 標準の太さ

2) bold → 太字

この2つをよく使う

3) 100, 200, ... 900の数値 → 数値が大きいほど太い

文字のフォントを変更するcss

書式 (プロパティ : 値 の部分だけ記述しています) :

```
font-family : “フォント名” ;
```

例(文字を“*Impact*”というフォントにする) :

```
font-family : “Impact” ;
```

文字の寄せ方(左、中央、右)を変更するcss

書式 (プロパティ : 値 の部分だけ記述しています) :

`text-align` : 寄せの種類 ;

例 (中央寄せにする) :

```
text-align : center ;
```

<寄せの種類>

- 1) `left` → 左寄せ 何も設定しなければコレ(デフォルト)
- 2) `center` → 中央寄せ
- 3) `right` → 右寄せ

背景を装飾するCSS

背景色を変更するCSS

書式（プロパティ：値の部分だけ記述しています）：

```
background-color: 色の値;
```

文字色のと一緒

背景をシアンにする例1：

```
background-color: aqua;
```

背景をシアンにする例2：

```
background-color: #00ffff;
```

R G B

それぞれ2桁の16進数(0~255の値を示す)

背景を画像にするCSS

書式 (プロパティ : 値 の部分だけ記述しています) :

```
background-image : url(画像ファイルの場所と名前);
```

例 (*body*全体の背景を*images*フォルダ内の*01.jpg*にする) :

```
body {  
    background-image : url(..../images/01.jpg);  
}
```

ここの書き方は次回で詳しくやるが、
これはこのcssファイルから見て上の階層のフォルダ(つまりmySite)の中のimagesフォルダの中の01.jpgを指定している

*とりあえず今回は画像ファイル名の前に **../images/** を付けると思っておけば大丈夫です*

背景画像関連で他に知っておくと便利なcss

1) 背景画像の繰り返し方を変える

【書式】

`background-repeat` : 繰り返しの方法;

【横方向にだけ繰り返す例】

`background-repeat` : `repeat-x`;

繰り返し法の種類

- 1) `repeat` → 上下左右に繰り返す(初期値)
- 2) `repeat-x` → 横方向にのみ繰り返す
- 3) `repeat-y` → 縦方向にのみ繰り返す
- 4) `no-repeat` → 繰り返さない

背景画像関連で他に知っておくと便利なcss

2) 背景画像のスクロール方法を変える

【書式】

`background-attachment` : スクロール方法;

【文字スクロールと関係なく位置を固定する例】

`background-attachment` : `fixed`;

スクロール法の種類

- 1) `scroll` → 一緒にスクロール(初期値)
- 2) `fixed` → 位置を固定

背景画像関連で他に知っておくと便利なcss

3) 背景画像の初期位置を変える

【書式】

`background-position` : 初期位置の指定;

【右下を初期位置とする例】

`background-position` : `bottom right`;

初期位置指定の種類

- 1) `top` → 上に配置
- 2) `left` → 左に配置
- 3) `right` → 右に配置
- 4) `bottom` → 下に配置
- 5) `center` → 中央に配置

この2つを合わせた"`top left`"がデフォルト

課題 3

「kawai1をベースに文字と背景を装飾しよう」

11/6 授業前×切

課題3の手順

課題1と同じ内容のhtmlの、文字と背景を装飾する
(cssファイルを読み込み適用)

手順

- ：
- 1) mySite > css 内に「kadai3.css」を新規作成
 - 2) kadai1.htmlを開き、mySite内に「kadai3.html」として名前を付けて保存
 - 3) head内にcssファイル読み込みのlinkタグを書く (hrefの部分は以下)

```
<link ~~~~~ href = "css/kadai3.css" >
```

- 4) 大見出し、中見出し、小見出し、段落の文字をそれぞれ装飾する
- 5) bodyの背景を画像にする (url部分は以下の形式)

```
background-image : url(..../images/画像ファイル名) ;
```

- 6) 保存して「kadai3.html」と「kadai3.css」と「画像ファイル」をアップロード

課題3の見た目

タイトル「課題3」



大見出しは

- ・文字色を変える
- ・中央配置
- ・背景に色

Body全体の背景に画像

中見出しも

- ・文字色を変える
- ・中央配置
- ・背景に色

小見出しと段落の
文字色を変える

ファイル名は「**kadai3.html**」と「**kadai3.css**」でアップロード
(**kadai3.css**はcssフォルダ内にあるように注意)

表示の確認は必ずしておこう

<課題3のURL>

https://e○○○.github.io/kadai3.html



自分のGitHubアカウント名
(e学籍番号+2文字)



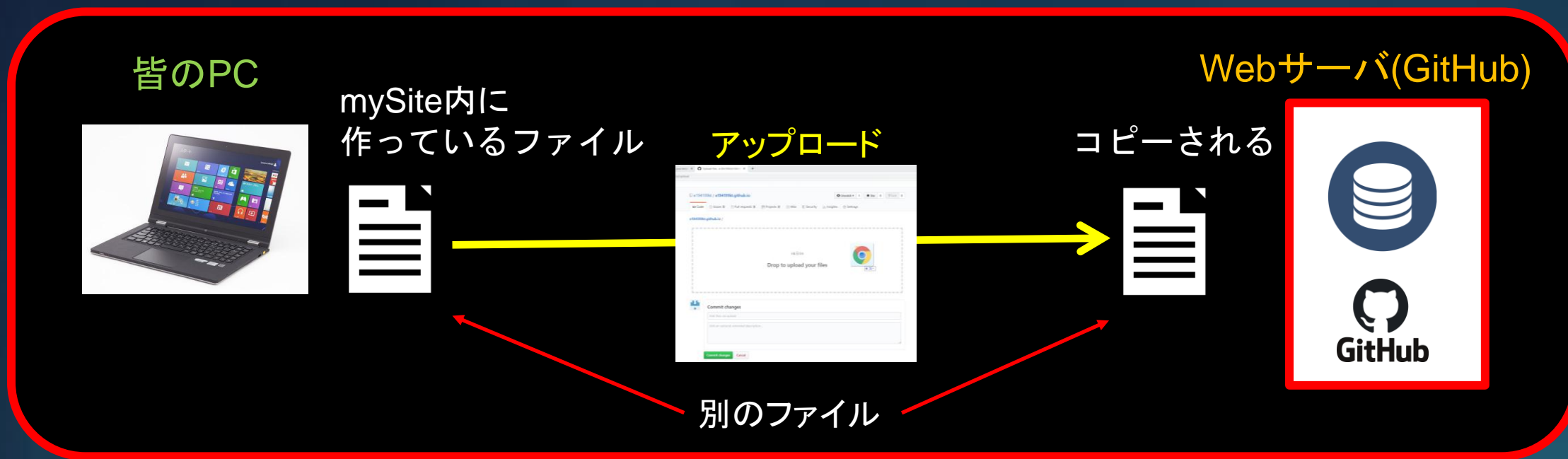
課題3でアップロードした
htmlファイル名



- 1) ちゃんとページが出るか
 - 2) リンクは正しく動いているか
- 確認

注作っているファイルとアップロードファイルは別

- **アップロード:** データやファイルをクライアントからサーバにコピーすること



⇒ アドレスで確認して見えるWebページは、最後にアップロードしたもの

⇒ 更新したら、必ずもう一度アップロードしよう